

写 諮 問 書

今後上・下水道が連携し取り組む施策の目指すべき方向性を示すための行動計画である「熊本市上下水道事業経営基本計画」について、貴審議会の意見を求めます。

諮問第 1 号
平成23年1月31日

熊本市上下水道事業運営審議会 会長 様

熊本市上下水道事業管理者 花田 豊

【 諮 問 理 由 】

本市の水道事業は、大正 13 年（1924 年）の給水開始以来 80 余年にわたり、安全で良質な水道水の安定供給に努めてきました。一方下水道事業は、昭和 23 年（1948 年）に戦災復興事業の一環として着手して以来 60 余年にわたり、生活環境の向上や都市型水害の防止に取り組んできました。

このように各々の道を歩んできた水道事業と下水道事業ですが、平成 21 年 4 月に水循環型社会形成等を基本理念に掲げ、両組織が統合し上下水道局として新たなスタートを切ったところであり、今後は、上下水道事業がさらに連携して様々な施策に取り組んでいくことが必要となります。

また、平成 20 年 10 月には富合町と、平成 22 年 3 月には城南町・植木町と合併を行い、人口約 73 万人の「新熊本市」が誕生し、現在、平成 24 年度の政令指定都市移行に向け着実に準備を行っているところであり、今後は政令指定都市となる新熊本市として、合併町も含めた総合的な上下水道事業の実施が求められます。

このような社会情勢や環境の変化に即応した水道事業や下水道事業を推進していくためには、両事業のこれまでの取り組みや計画を整理再構築し、上下水道局が目指すべき方向性を明らかにするとともに、その実現のための具体的な方策を示すことが必要となりました。

そのようなことから、今回、上下水道事業経営の理念とこれを達成する手段を定める「上下水道事業経営基本計画」を策定し、政令市へ移行する平成 24 年度からこの計画に基づき上下水道が連携して事業を展開することとしており、本計画について貴審議会のご意見を賜りたく諮問いたします。